**市政トピックス**

**●岩出山小学校の開校式が行われ，新たな歴史がスタートしました**

　　4月28日，岩出山・西大崎・上野目・池月・真山の5つの小学校が統合し，誕生した新生・岩出山小学校で開校式が行われました。全児童４１３人と保護者，関係者など約６００人が出席し，新しい小学校の誕生を祝いました。

　校長の大場良行 氏は，「５つの地域の伝統と特色を受け継ぎ，夢いっぱいの素敵な学校の歴史をつくっていきましょう」と式辞で述べ，新たな校風と歴史を築いていくことを誓いました。

　また，当日は，新しい校歌を作曲いただいた鳴子温泉地域在住の作曲家・ 氏から「校歌の作曲前には，作詞家の 氏と旧5校すべてを見て歩いた。素晴らしい地域の特色を歌い継いでほしい」とお祝いのメッセージをいただきました。校歌斉唱では，会場いっぱいに元気な歌声が響きました。

　岩出山小学校が立地する敷地は，約４００年前に伊達政宗公が居城していた由緒ある場所です。伊達なまちづくりの始まりの地 岩出山で，新しい教育の歴史が歩み出しました。

写真：旧5校から一人ずつが登壇し，児童代表として希望の言葉を述べました。

写真：伊達家の紋である竹を用いて，5校児童の輪などが描かれた校旗が，教育委員会から渡されました。

**●大崎耕土を守り育み，未来へつながる「大崎モデル」の構築へ**

　　5月20日，アインパルラ浦島で，世界農業遺産推進フォーラムが開催されました。当日は約300人が参加し，4月19日に行われた世界農業遺産認定証授与式の報告とともに，世界農業遺産の認定を受け，今後どのように生かしていくか認識を深めました。

　基調講演では，あん・まくどなるど 氏から「大崎耕土の農業は洪水・渇水などの厳しい自然環境を乗り越え，地球環境の変化に柔軟に対応してきた。現在でも，地域が築いてきた農業の伝統と，環境性・経済性が両立され，世界のモデルとなる農業地域だ」とお話しをいただきました。

　また，消費者・生産者・商工業者それぞれの立場から，世界農業遺産認定を踏まえた取り組みなどの紹介がありました。今後は，大崎耕土の魅力を生かしたブランド化を進めると同時に，その素晴らしさを次世代に伝える取り組みを行っていきたいなど，力強い意見が出されました。

写真：大崎耕土の魅力を分かりやすく伝えていただいた上智大学大学院教授 あん・まくどなるど氏。

写真：5月20日にお披露目された大崎地域世界農業遺産ロゴマーク（「大崎耕土を守り，育む活動を明るく楽しいものにしよう。大崎耕土に暮らす人も訪れる人も，みんなで未来を作ろう」という思いを込めて制作されました。今後，農産物やさまざまなグッズに活用し，大崎耕土を盛り上げる活動を支えます。）

**●2018　5月の主な出来事**

|  |  |
| --- | --- |
| 1日 | ●夏の軽装勤務（クールビズ）開始（10月31日まで）●大崎市長初登庁（4期目） |
| 2日 | ●鳴子ダムすだれ放流 |
| 9日 | ●鳴子放牧場開牧式 |
| 10日 | ●古川十日朝市開会 |
| 12日 | ●三本木春祭り（稚児行列・交通安全パレード）●第22回パークゴルフ全国交流大会「さくらカップ」 |
| 17日 | ●第1回大崎市議会臨時会（18日まで） |
| 18日 | ●大崎市保健推進員委嘱状交付式 |
| 20日 | ●世界農業遺産推進フォーラム |
| 24日 | ●男女共同参画推進協議会委嘱状交付式 |
| 26日 | ●大崎市中総体（27日まで） |

写真：今年のすだれ放流は，冬の大雪により例年に比べ水量が多く，迫力ある水しぶきを見せていました。

**地域発　お・ら・ほ・の・ま・ち**

自分の住む地域を「おらほ」というと，親しみや愛着を感じませんか。

おらほの地域づくり，おらほの隠れた名所，おらほのおいしい特産品，おらほの伝統のまつり，おらほのイベント・・・。

そんな，愛してやまない「おらほの地域」を発信します。

**●三本木発　幼年消防クラブに任命！**

　　5月11日，三本木子育て支援総合施設ひまわり園で，幼年消防クラブ任命式が開催されました。

　幼年消防クラブは，地域や家庭の防火を呼びかけるため，防火に関する知識を学び，啓発活動などを1年を通して行います。

　任命式では古川消防署三本木出張所長，大崎市消防団三本木支団長から「火遊びは絶対にしないこと。お出かけする時はお父さん，お母さんに火元の確認をしてもらうよう声掛けすること」などの話があり，最後の「みんなできるかな？」という問いかけに，参加した園児達は大きな声で返事をしていました。

　任命式が終わると，園児たちは順番に外に出て，救急車や消防車を見学し，それぞれが見て思ったこと，疑問に感じたことを，消防署の職員に聞いていました。

　これから三本木地域の防火に携わる，小さな子どもたちの大きな力に期待しましょう。

写真：消防火を呼びかける法被を着て，任命書を受け取りました。

写真：消防車や救急車を一周見て回り，分からないところ，気になったところは消防職員に質問していました。

**●古川発　園児200人が見守りコイを放流**

　　5月11日，古川の中心部を流れる緒絶川に，コイ50匹余りが放流されました。青空の下，色とりどりのコイが放流される様子を，幼稚園児約200人が見学し，拍手や歓声を上げながら見守っていました。放流されたコイは，これまでの放流から成長したコイに混じり，元気に緒絶川を泳いでいました。

　コイの放流は，市民団体「緒絶川荒川清流化促進協議会」の皆さんが実施しているもので，企業や市の協力を得ながら，川の浄化活動の一環として行っています。

　昭和43年から続けられているコイの放流や，年に数回行われている川底の清掃などにより緒絶川の美しさが保たれています。

写真：緒絶川の美しい景観に，新しいコイ50匹が仲間入りしました。